

2022年12月27日

各 位

会 社 名 フロンティア・マネジメント株式会社
代表者名 代表取締役 共同社長執行役員 大西 正一郎
(コード番号：7038 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 カンパニー企画管理部門長 濱田 寛明
(TEL. 03-6862-8335)

配当方針の見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり配当方針の見直しについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 見直しの内容

(見直し前)

- ・利益配分につき、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針とする。
- ・配当性向は、当社グループの連結業績、財政状態、経済情勢等に鑑み、連結当期純利益の40%を目標とする。

(見直し後)

- ・利益配分につき、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針とする。
- ・配当性向は、当社グループの連結業績、財政状態、経済情勢等に鑑み、連結子会社フロンティア・キャピタル株式会社（以下、「FCI」という）を除く連結当期純利益の40%を目標とする（FCIから当社へ配当の支払いがあった場合は、配当性向目標に従い当社株主に配当される）。

2. 見直しの理由

当社は、利益配分について、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針とし、配当性向は、連結当期純利益の40%を目標とすることを配当方針としております。

一方、FCIの事業立ち上げに係る損失が、当社の株主へ支払う配当原資を減少させてしまうことは、当社の配当に関する基本方針に合致しないと考えていることに加え、今後、FCIがFCIの連結子会社になる企業へ投資実行した場合、会計上は一時的に当社の連結当期純利益を増減させるものの、実態としては当社の配当原資の増減には影響がないことに鑑みて、今後も中長期的に安定的な配当を実現していくためには、FCIの損益については、当社の連結当期純利益から控除したうえで、配当性向が40%となることを目標に具体的な配当金額を検討することが適切と考え、配当方針を見直して明確化するものです。

(なお、決算短信等開示資料上での「配当性向」は、これまで同様、FCIの損益等を含めた連結当期純利益をもとに算出した配当性向が記載されますので、ご注意ください。)

3. 適用時期

2022年12月期の期末配当から適用いたします。

以 上